

東京科学大学病院 広域連携型プログラム

協力病院ピックアップ

ひたちなか総合病院

広域連携通信
vol.3

ここがポイント！

✓「診療の型」を徹底指導！手厚く丁寧な指導で確実に成長

診療の基本を身につけるには、多くの症例をただ経験するだけではなく、適切なフィードバックが欠かせません。ひたちなか総合病院では、診療の型を身につけることを重視し、総合内科をはじめとする各科の指導医のもとで研修医が学ぶべき基本的診療技能について丁寧な指導が行われます。限られた時間でどう動くかを考え、アクションプランを明示する大切さを学び、身につけることができます。

✓コモンな疾患から手技まで幅広く経験！自主性を尊重し、お互いの顔が見える理想的な研修環境

基本的な症例の対応から、救急対応、手技まで幅広く経験することができます。病院全体でお互いの顔が見える垣根が低い雰囲気の中で、大学との連携による大学病院並みの専門教育も交えながら、地域唯一の総合病院として患者さんの全体像を理解し診療を行う大切さを学びます。

「自主性」「コミュニケーション」「振り返り」を尊重した研修を行うことができます。

プログラム責任者の山内 孝義先生に お話を伺いました！

ひたちなか総合病院の研修環境



当院では研修ポリシーとして「自主性」「コミュニケーション」「振り返り」を大切にしており、そのため自ら積極的に研修に取り組む先生が多いです。研修医の座席も年齢の近い医師と同じオープンスペースにあり、先輩・同僚とのコミュニケーションが自然に生まれる環境になっています。

基幹型研修医の出身大学は南は琉球大学から北は旭川医科大学まで全国にわたり、当院で臨床研修を修了し、各地で活躍されています。協力型としては、東京科学大をはじめ筑波大学や近隣の研修病院からも研修医が集まり、基幹型を含めると常時およそ 20 名の研修医が切磋琢磨しています。

東京科学大学病院との連携としては、当院の研修は 2003 年に始まり、初年度の基幹型研修医は旧東京医科歯科大の出身でした。2004 年からは協力型研修病院となり、以降は毎年 2～4 名の先生が派遣され、これまでに累計で 60 名の先生が当院で研修を修了されています。宿舎は病院近くのワンルームマンションで、家賃は約 4 万円程度。特急の停まる駅から徒歩圏内にあり東京にも出やすく、近くには大規模なショッピングセンター (MEGA ドンキ) もあって生活面でも不自由はありません。

ひたちなか医療圏の特徴



この地域は人口約 35 万人の常陸太田・ひたちなか医療圏で、総合病院は当院のみです。そのため必然的に患者さんが当院に集まってくる環境です。302 床という中規模病院ではありますが、その分 Common Diseases の症例が豊富に集まるのが大きな特徴だと思います。

地域の魅力としては、新鮮な海の幸を楽しめる飲食店が多く、特にあんこう鍋は有名です。近隣にはネモフィラやコキアで知られる国営ひたち海浜公園もあり、四季折々の自然を満喫できます。海や河川、汽水湖があるため釣りやマリンレジャーも楽しめますし、大規模なショッピングモールも整っていて買い物にも困りません。東京へのアクセスも容易なので、オン・オフのバランスをとりやすい環境だと思います。

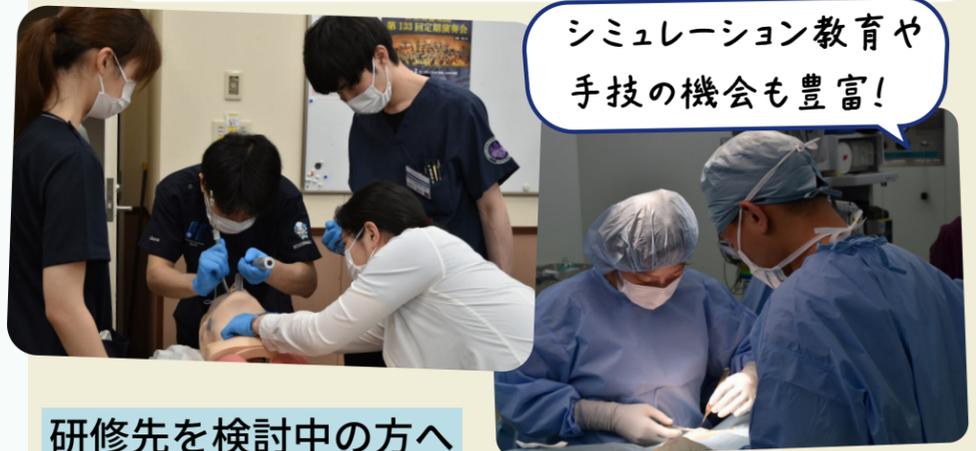
病院の特徴・指導体制



当院は常陸太田・ひたちなか医療圏で唯一の総合病院として、多くの症例や疾患を経験できるのが特徴です。医局はオープンで診療科間の垣根も低く、相談しやすい雰囲気があります。研修医のローテーションは各診療科に 1 名程度の配置で、その分指導医の立ち会いのもとで手技を豊富に経験でき、スキルアップしやすい環境です。総合内科をはじめ循環器、神経、消化器、呼吸器、血液、リウマチ、腎臓、内分泌と幅広い内科専門科がそろっており、多面的なスキルを身につけることができます。研修医向けのレクチャーやカンファレンスも定期的で開催しており、筑波大学の社会連携教育研究センターが院内に開設されていて常勤の大学教官から大学病院並みの専門教育を受けることができます。毎月の責任者面談では 360 度評価のフィードバック、目標の進捗確認、個々の悩み相談にも応じています。さらに常勤病理医の指導で CPC 発表やレポート作成も経験できます。

日本で最初に ISO9001_2000 版 (本質)、ISO22301 (事業継続) を取得した病院で、多職種連携での医療の質改善活動も活発なため、医師以外のスタッフとも協働する機会が多く、連携・協力が得られやすい雰囲気です。

シミュレーション教育や手技の機会も豊富！



研修先を検討中の方へ



当院の研修ポリシーは「自主性」「コミュニケーション」「振り返り」です。この理念に共感し、実践していただける先生に来ていただきたいです。法令で定められた必須の研修経験は十分に積むことができ、修了に向けてもしっかりサポートいたします。多様な症例を経験しながら着実に成長できる環境ですので、ぜひ当院での研修をご検討ください。

研修医の先生に

インタビューにお答えいただきました！

H先生 旧東京医科歯科大学卒（プログラムII）

ひたちなか総合病院を選んだ理由と、

研修開始時の気持ち



将来どの診療科に進んでもジェネラルな視点を大切にしたいと思っており、総合診療科や総合内科で研修できる病院を希望していました。ひたちなか総合病院には指導に熱心な救急・総合内科があると聞き、選択しました。

正直なところ、たすき先として調べるまであまり耳にしたことがなく、見学にも行っていなかったので雰囲気はわからず不安はありました。茨城県も初めてで、知り合いがない中で上手くやっていけるか心配でしたが、アクセスや生活面の不安はなく、実際に勤務を始めてみると同期や上級医は皆優しく、すぐに溶け込むことができました。

筑波大からの先生が比較的多いですが出身は様々で、環境の違いを感じるのも面白かったです。都内へは特急1本で行けるので、月に数回は東京にも足を運んでいました。

ひたちなか総合病院研修で得られる経験値



この病院では「珍しい疾患ばかりでなく、どの科に進んでも役立つようなコモンな病態を経験すること」を大切にしていると感じました。肺炎、心不全、胃腸炎、喘息など基本的な疾患を多く経験できたのは大きな学びです。

救急では「振り返り」が重視され、症例ごとにフィードバックをいただいたことで、次に活かす意識が自然と身につきました。当直は研修医1人と上級医1人の体制で、初めは大変でしたが、患者の優先度や診療の流れを意識できるようになったのは成長につながったと思います。

手技についても、中心静脈カテーテルや腰椎穿刺はシミュレーターで練習してから実際に行い、外科では指導医のもとで執刀を経験する機会もありました。手技の取り合いになることはなく様々な経験ができます。

指導熱心な先生が多く、
レクチャーや病歴要約、
CPCの指導も手厚かったです。



医局でのレクチャー風景

自身で特に成長したと感じる点は？



上級医からは常に診療の「型」を身につけるように教わりました。国家試験までの学習では「現場でどう動くか」という視点が不足しがちで、搬送や病棟急変に直面すると、時間のなかでパニックになってしまったこともありましたが、そんな時、緊急度を踏まえて鑑別を挙げ、必要な診察や検査を組み立てるアクションプラン＝「型」を明文化しておくことで、少しずつ冷静に対応できるようになりました。こうした指導の機会を多く得られ、自分の中に診療の「型」が1年間で蓄積されてきたと実感しています。

ひたちなか医療圏の特徴について教えてください



ひたちなか市は日立製作所や関連企業に勤める方が多いのか、全体的にはご高齢の患者さんが多い印象ですが、老若男女幅広い患者さんが来られます。水戸市、東海村、常陸太田市からの患者さんも多いです。一方で、産婦人科や精神科など一部の救急体制が整っていない分野もあり、患者さんの受け入れ先がなかなか決まらないケースも見られました。大学病院のように全国から患者が集まるわけではないですが、地域の中心病院として患者さんの生活背景が見えやすく、患者さんがどのような土地で生活しているのか、どのような介護サービスを利用しているか、何が生活の障壁になっているか、などが想像しやすくなった気がします。治療して終わりではなく、その後の生活も含めて支えていく大切さを実感しました。



地域の特徴

ひたちなか医療圏は茨城県北東部の太平洋沿いに位置し、高齢化率は30.9%（全国平均28.6%、2020年度国勢調査）。病院最寄りの勝田駅から東京駅へは特急で約80分、車でも90分ほどとアクセスは良好。勝田駅周辺には商業施設などが揃い、生活しやすい環境が整っている。

名物は干しいもやあんこう料理。常陸牛やイチゴ・メロンなどの果物、トマトなどの野菜、花卉の栽培が盛んで、海産物も豊富。観光では「国営ひたち海浜公園」のネモフィラやコキア、夏の阿字ヶ浦海岸など、四季を通じて楽しめる。

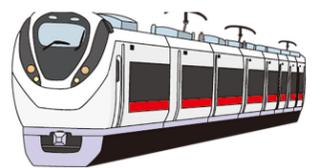
研修医の先生が撮影したネモフィラです！



東京駅から1時間26分

勝田駅から徒歩8分

特急 ひたち・ときわ



生活環境とオフの過ごし方



徒歩10分ほどの寮に住んでおり、都内よりも安価で広い部屋に住むことができました。日用品は病院近くのドン・キホーテで、食料品は自宅すぐそばのスーパーで揃えていました。駅周辺には飲食店が多く、仕事帰りに研修医仲間や先輩、他職種の皆さんと食事に行くこともありました。休日にはひたち海浜公園や鹿島神宮など、茨城の観光を楽しむことができました。経験はしっかり積めますが、忙しすぎることはなく、実臨床と勉強のバランスが取りやすいのも魅力でした。当直明けは帰宅できるなど、オンとオフがしっかりしている点も良かったです。

駅が近いので車がなくても生活に支障はありませんでしたが、あればより行動範囲が広がると思います。

オフのひとコマ



研修先を検討中の方へ



規模の大きな病院ではありませんが、その分診療科や職種の垣根は低く、アットホームな雰囲気の中で研修できます。症例数も知識も十分に得られ、自分のペースで研修を進められるのが良いところです。都市部を離れてみたいけれど、過疎地すぎたり遠すぎるのは少し不安、という方にはちょうどいい環境だと思います。自分にとっては、やはり型を大切に診療を学べたこと、地域の中心病院で患者さんの生活背景まで見ながら診療できたことが大きな学びでした。多くの方にお勧めしたい病院です。



総合教育研修センター ホームページはこちら

